

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

思い出の場所

岳南中 二年 高橋 和

私が小さいとき、よく大川の滝に行っていた。岩をびよんぴよんとジャンプして滝の近くに行き、とんでくる水を浴びて遊んだり、近くに生えている包丁葉っぱで遊んだりしていた。近くに島外から来た観光客がいた。その観光客が滝を見て、「自然豊かだいいな」と言っていた。それを聞いて、屋久島で暮らす

中学校

私からしたら、この景色が普通なので、良さが全く分からず、意味が分からなかった。しかし、今は、以前よりは分かる気がする。そのとき、かけは東京に行ってきた。私の親の実家は東京にある。そのため、夏休みや冬休みに家族で東京へ行く。車から周りを見渡すと、ビル、風力発電所、お店や家などの建物……。全然木が生えていない。私は衝撃を受けた。

こんな木が近くに生えていない、見えな

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことばをけすりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

(月 日 曜日)

い場所なんてあるんだ。」
 初めての景色に私はとても驚いた。大川の滝
 のように滝が近くにあるとは思っていなかつ
 たが、ここまで木がないなんて思ってもみな
 かつた。小さい頃の私は、
 「この木がない景色を見られるのはおかし
 い。私はもう死んでいるのかもしれない。」
 などと考えてしまくらい、衝撃的な景色だ
 った。そう考えると、あの観光客が言っ
 たことが分かる気がする。いや、分かる。

中学校

最近、大川の滝へは行っていないけれど、
 たまにこの記憶が頭の中へフラッシュバツクす
 る。今の自分が東京に行つたときも、毎回思
 い出す。屋久島の自然は当たり前ではなことを。
 だから、島外から来た人の気持ちはみんな一
 緒で、とても驚くことなのだと思う。
 そういえば、友達から聞いた話だが、大川
 の滝の落差は八十八メートルらしい。長いか
 短いかは私には分からない。友達が言うには
 長いそうだ。その話はさておき、大川の滝は、

(不許複製)

20×20

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れてください。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

私にとっては、屋久島の滝の中で一番おすすめ
 の場所だ。理由は手軽に行けてしまうこと。
 蛇の口は、トレッキングコースを片道、二
 三十分かけて歩く必要があるが、大川の滝は、
 車を駐車したら一分もかからずに見ることが
 できる。そして、もう少し坂道を降りていく
 と、そこには、海がある。左へ曲がると川が
 あり、たまにサルに遭遇することもあるが、
 危険なので、その時には、海に遊びに行く。
 よく友達と遊びに行っていたので、子供の頃

中学校

の私の好きな石遊びもできて、楽しい思い出
 として記憶に残っている。
 そういえば、思い出してみると、その川は
 行くたびにちよこちよこ形が変わっていた。
 水の中の砂を片手にのるくらいの量をとって、
 草をのせてお寿司をよく作っていた。そして、
 父の釣リスポットでもあった。よくスズキを
 釣っていて、母が料理をして、こぶじめにし
 てくれていた。味はもう覚えていないが、母
 が言うには、私の大好物だったという。もう、

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおぎない、むだなことはけずりましょう。



